



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.24 February 10, 2011

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。

ジョークと私

お叱りを受けた暗唱用例文

豊田 一男



高校の英作文の教科書編集に関わっていた 20 年ほど前の話。

その課は文法事項としては名詞節を絡めたジョークを題材にしたものだった。範例として筆者お気に入りのジョークを高校生向けに書き直し、いくつか名詞節を含んでいるものにした。(英文法をお忘れの会員諸氏のために、名詞節には教科書にはない下線を引いておきます。以下同様。)

My Mother's Tact

One day my father noticed a neighbor coming to our house. The trouble with her is that she talks too much. So, my father took refuge in his study and left my mother to entertain the caller.

About an hour later he came out of his room to see if she had gone. He called to my mother, "Has she gone?"

The fact was that the woman was still in the living room, but my mother answered calmly, "Yes, she left long ago. Mrs. Sato is here now."

そして、この課の後ろの方に暗唱用例文として(皆様おそらくご存知の)次のジョークを入れた。

Learn By Heart

1. A car salesman came to our house yesterday.
2. He urged that my father buy a new car.

3. He explained how economical a new diesel engine car was.
4. He added that it would save half of my father's gas cost.
5. My father asked if he could save all of his gas cost by getting two cars.
6. The salesman gave up and left.

筆者としてはうまく名詞節が入ったと思っていたし、他の編集委員諸氏、出版社の編集担当者もこれで良しということになり、教科書に載ったのだった。

その後しばらくして、編集担当者から「ジョークを暗唱させるとは何ごとだ、もっと真面目にやれ。こんな題材では二度と採用しないぞ」という趣旨のお叱りを受けたと聞いた。

「ああ、やっぱりなあ」というのが筆者の反応だった。所詮ジョークは一過性、瞬間芸的なものにはある。だから教科書に載せ、しかも暗記までさせることに不快感をもつ人はいるだろう。この英語教師は極めて真面目な人に違いない。だから、「こんなくだらないジョークを暗記させるとは何ごとだ」ということになったのだろう。またジョークはすべての人が笑うようではあまり出来が良いとは言えないかもしれない。この教師にはこのセールスマンのジョークが面白くなかったのかもしれない。

結局この教科書が全体として不評になり、売れ行きが落ちたなどということはもちろん全くなかった。しかし、「ジョーク恐るべし」という教訓は心に残った。

第 24 回研究発表会

私ならこれを選びたい

山崎 雍一

観戦記を書くようにとのご指示を受け、学識経験豊かな諸兄姉のコンテストについてコメントするのは浅学の身として汗顔の極みですが、敢えて奮勇を奮い、以下独断と偏見で書きますので、どうぞご笑覧願います。

ジョークは日本語で書くなら「冗句」と表示するそうですが、この「冗句」は決して語呂合わせではなくて「冗談」、「冗漫」、「冗長」等の用語の延長に位置する立派な日本語である由。もしそうなら冗句とは余分な言葉、不必要な言葉、**redundant** な言葉ということになります。従って不必要な言葉についての観戦記などは論理的に不必要な代物になるではないかと思ひながら先ず筆を執りました。

ジョークの説明はやぼだと謂われているのはそんな理由からなのでしょうか？ いやそれは違う。「ジョークの創出する笑いは人間にアドレナリンを発散させ緊張を解き、血圧、心拍数に好影響を与えるので健康上一流の名医にも劣らぬ効能がある」との説もあり、小生もそう信じています。従ってもし語呂合わせをするならば、私見ですが「冗句」ではなくて「序句」、「助句」の方がジョークの本質に近いのではないかと思います。

国際会議などでスピーチの始めに会場の雰囲気作りの為に一言述べるとか、演説内容の理解を助ける為に一言付け加えるなど、ジョークはコミュニケーションに必要欠くべからざる手段として特に日本ではもっと多用さるべきでしょう。

前置きはこのくらいにして本題に入りましょう。人間の評価は人によって異なると言われてます。評価する人の価値観はその個人の生育歴、文化、知識、宗教、年齢、性別、等々によって異なるからです。善人と悪人、英雄と反逆者、天才と愚鈍、等々同一人物が時代の見方によって二通りに評価されてきたことは歴史の示す通りです。

笑いも何が面白いと感ずるかは人によって異なるのは当然ですが、コンテストの審査員という立場に立った場合には自分が面白いと思う作品をそのまま投票するのではなくて、どの作品がその特定の集団の中で普遍性を持つか、即ち「一般受け」するかをも考慮する必要があると思います。

極端な例ですが、雪を知らないナイジェリアのラゴスの映画館で雪が降ってくると観客が笑い出したという話を以前現地で聞いた事があります。又、浅草の忘年会で太鼓持ちが余興として昭和天皇の話し方を真似て「・・・と・オモ・・・イマス！」と言ったので一同大爆笑でした。これらは部外者には全く理解出来ないことでしょう。

良いジョークとは常にその集団が共有する常識・関心事に基礎を置いていると言えます。となると我が「英語のジョークを楽しむ会」の好ましいジャンルとしては、一般的宗教、政治、哲学等よりは、英語圏文化に根ざした人間洞察となるでしょう。

最優秀賞 **Smoking shortens your cigarettes.** の眼目は、喫煙と不健康という既成概念に肩透かしを食わせた事ですが、「なぜ彼は赤いコートを着ているの?」「寒いからさ」とか、「何故彼は道路を横切ったの?」「反対側に行く為さ」などと同様、子供にも通用する普遍的着想だと思います。

準最優秀賞 **In China you'll have to read between the jumped lines.** は、中国人は行列の割り込みを平気でやるという悪癖を知らないと思えないので説明を要するでしょう。

What's a 72? It's a 69 with three people watching. の獲得票は0でしたが、折角ゴルフのパープレイを持ち出したのだから、後半は疲れを知らない女性像に憧憬の想いを込めて **It's a 69 anticipating 3 more closing strokes.** などは大人のジョークとしていかがでしょうか。

最後に **Man's sex and a bank have something in common. No interest after withdrawal.** これこそ明快で“現役”引退を不本意乍ら間近に控えた予備軍を数多く擁しているかもしれない我等シニア軍団の共感と郷愁を呼び、秀逸だと思います。私ならこれに最優秀賞を与えたい。(了)

第 24 回研究発表会

新年会風景

安藤 雅彦

今年で 2 回目の豪華絢爛だけど、酒池肉林ではないこの行事に、精鋭 18 名が参加。長谷川さん、新堂さん、ご臨席をいただきありがとうございました。

まずは新堂さんの名スピーチと音頭で乾杯。つづいて本会の着々たる発展と世界的名声に寄与された年間功労者 5 人に表彰状と副賞の宝くじ (5 枚、連番) の授与。会長より、多額の賞金が当たった場合は、当会への相応の寄付のお願いがあった。だが宝くじの番号は控えてありませんので、受賞者の方々はご安心を (? !)

1) 研究発表最優秀者賞:5月と7月に **Headline**

Jokes ジャーナリズムのみだしなみ」を發表された草野淳会員 (写真右)。



2) 研究発表最優秀者

賞:11月に「Church Bulletins と Epitaphs」を發表された土屋政雄会員。

3) 3月のジョーク・コンテスト優勝者:新堂睦子会員、

Organic farming is a lot of shit. チゲーネェ。

4) 5月のジョーク・コンテスト優勝者:長谷川

幹夫会員、**Girl: Aren't the stars pretty tonight? Boy: I'm in no position to say.** ハイ、ワカリマス。

5) 9月のジョーク・コンテスト優勝者:小池温

会員、**Children in the dark cause accidents. Accidents in the dark cause children.** ゴモットモ。

嬉しいことに、会社説明会で多忙の浦さんが、正装で数分間顔をだしてくれた。会場提供にたいしお礼の熱烈な拍手を送り、余った(?)宝くじを進呈した。

ここで自由歓談となり、米国の人種差別 (Jap は侮蔑語? 尊敬語?)、翻訳裏話 (salmon と sermon を取り違えるジョークのようなエピソード)、憂うべき日本語 (ハンマーはあるけど、ハンマーのようなものは無い!) などなど盛り上がった。

あの和歌山高専で浦さんの後輩で、当会のホームページの運営をお願いしている木戸さんも参加され、気品溢れる当会の活動を肌で感じていただけたご様子。

近所のコンビニで 2 時前に飲み物の調達をしたが、重量物の液体を運ぶのに超若手の小澤さんが助っ人になってくれ、平均年齢の高い運営委員会としては大助かり。またおでんの運搬では木戸さん、相原さん、新堂さん、お世話になりました。おかげで、今回はカラシが迷子にならず、めでたしめでたし。つまみと飲み物が余り過ぎたのが反省点で、次回は量を減らして、2 千円の会費を安くしたい。

ベスト・ジョーク笑

新堂睦子さん



あなたは 2010 年 3 月 20 日に平河町マーキュリー・ルームにて行われた第 4 回ジョーク・コンテストで、

Organic farming is a lot of xxxx.

で優勝され、本会の品位の向上に多大なる貢献をされましたので、これを表笑いたします。

2011 年 1 月 15 日
英語のジョークを楽しむ会
会長 宮本倫好

ユダヤ人ジョーク再論

宮本倫好

今回は、ユダヤ人ジョークの側面の一つ、「論争上手」を取り上げて見ます。次のジョーク、すんなりと笑えますか。

ある男(A)が、友人(B)の妻との間で不義密通あり、との理由で rabbi の裁きの場に連れ出されました。「私の場合、それは許される」というのが A の主張で、rabbi との間で、次のやり取りが行われました。

A: “You admit I am entitled to have sexual relations with my own wife.”

Rabbi: “Of course.”

A: “And you will grant B is permitted to have sex with his wife?”

Rabbi: “Obviously. What a question!”

A: “And may B have sex with my wife?”

Rabbi: “That’s disgusting. Of course not.”

A: “Everything makes sense, now. You concede I am permitted to have sex with a woman with whom B is forbidden to have sex. All the more so should I be entitled to have sex with a woman even B is permitted.”

この話を一回読んだだけですぐ理解出来、笑える人は、ユダヤ人並みの「論争特質」を持った方で、すぐ弁護士になれるでしょう。A の論点を整理してみます。(1) 私と自分の妻の sex は OK。(2) B と私の妻とは不可。(3) B には許されない私の妻と私は OK。(4) ならば、B さえ OK な B の妻と私は OK のはず。まあ屁理屈と言えそうですが、圧倒的に不利なものを、何とか理屈で逆転させようという論理の展開には脱帽です。

ユダヤ人はなぜ論争に強く、弁護士向きなのか。それはユダヤ教の集大成であるタルムッドを子供のときから徹底的に叩き込まれ、論争の技を身につけるからといわれます。

「ユダヤ人は本来頭脳が明晰なのだ」と言われれば、他の人たちは鼻白みますが、Joseph Telushkin はその根拠をこう指摘します。「中世の西欧では階級が固定されていて、有能な若者が貧困を脱する唯一の道は牧師になることだったが、結婚できなかったため、その優れた遺伝子を何世紀も社会に残せなかった。しかし頭の良いユダヤ教徒の若者は、有産者の娘と結婚し、優秀な子孫を育てることができた。この蓄積が後世ユダヤ人の傑出した理由だ」。

第 25 回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：3月19日(土) 午後2時-4時
- 会場：平河町 Mercury Room
(クオリティ(株) 6階会議室)
(東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第一ビル)
- 交通：地下鉄・有楽町線麴町駅 1 番出口より徒歩 2 分。地図は、
<http://www.quality.co.jp/> どうぞ。
- プログラム
 - ① 研究発表「英語決まり文句のもじり(2)」
豊田一男 会員
 - ② 第 8 回ジョーク・コンテスト
司会=服部陽一 会員
- 参加費：会員・非会員とも 500 円。
- 研究発表会終了後、近くの喫茶店で交流会を開きます。こちらにも、ご参加ください。
- 問合せ先：renraku@eigojoker.com

第 8 回ジョーク・コンテスト出題作品募集

- 要領：
 1. 出題は、お一人二題までとします。
 2. 長さは、一題 15 語までとします。
 3. 必要と思われる場合には、「笑いのツボ」やイラスト・写真などを、付記してください。
 4. 当日出席できない方も、応募できます。
 5. 結果は、We, Jokers No.25 Joke Contest Supplement 紙上でも発表されます。
- 宛先：mmsagawa403@s6.dion.ne.jp
- 締め切り：2011 年 3 月 5 日(土)

WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会会報 第 24 号

発行日：2011 年 2 月 10 日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

発行所：英語のジョークを楽しむ会

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第一ビル
クオリティ株式会社 気付

TEL:03-5275-6121, FAX:03-5275-6130

問合せ先：renraku@eigojoker.com

